

ERE information

Vol.22 2012年9月7日発行

発行/特定非営利活動法人 日本経済学教育協会・事務局 発行責任者/斧崎 幸彦
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3番21号/電話(03)3267-4819/http://www.ere.or.jp/

Contents

- ▶第22回経済学検定試験：『ERE』『EREマイクロ・マクロ』ともに前回平均点を上回る
- ▶第17回「大学対抗戦」：創価大学経済学理論同好会チームが10連覇！
 - ・EREの結果による単位交換制度で受験者数も増加（優勝チーム 加賀良明さん）
 - ・就活などの合間に定期的に勉強会（準優勝チーム 大峰彬広さん）
 - ・EREは考えさせられる問題が多い良い試験（個人賞トップ 玉江大将さん）
- ▶第18回EREマイクロ・マクロ「大学対抗戦」参加チーム募集！
- ▶委託会場制度利用のご案内
- ▶第23回ERE実施要領

《第22回経済学検定試験》

『ERE』『EREマイクロ・マクロ』ともに
前回平均点を上回る

2012年7月1日（日）に実施いたしました第22回ERE、EREマイクロ・マクロの成績結果がまとまりました。受験者およびお取りまとめご担当者の皆様への試験の成績に関するご通知・ご報告は、すべての手続等を完了しております。

成績概要は《資料1・2》のとおりです。

EREは前回の平均点を42.6点上回りました。統計学が前回は若干下回ったものの、他の科目は前回は上回っています。

EREマイクロ・マクロも前回の平均点を5.9点上回りました。マイクロ経済学・マクロ経済学ともに前回の平均点を上回っています。

《資料1-1》科目別成績

『ERE』

科目	マイクロ経済学	マクロ経済学	財政学	金融論	国際経済	統計学
配点	250点	250点	100点	100点	100点	100点
平均点	123.1点	135.2点	66.8点	50.0点	50.6点	47.6点
(前回)	111.7点	124.3点	55.3点	45.6点	45.9点	47.7点
標準偏差	50.95	47.95	20.62	22.86	21.39	22.41
(前回)	46.19	47.49	24.43	18.69	18.98	20.48

《資料1-2》

『EREミクロ・マクロ』

科目	ミクロ経済学	マクロ経済学
配点	250点	250点
平均点	104.9点	110.6点
(前回)	102.1点	107.5点
標準偏差	42.06	41.98
(前回)	39.84	42.28

《資料2》

成績概要

	ERE	EREミクロ・マクロ
応募者数	95名	1,213名
受験者数	62名	1,001名
平均点	473.2点	215.5点
標準偏差	151.97	76.46
最高得点	880点	470点
最低得点	0点	40点

《資料3》団体応募状況

□ERE/EREミクロ・マクロ						
1	福岡カレッジ・オブ・ビジネス	177名	19	明治大学		14名
2	中央大学	68名	20	大原法律公務員専門学校福岡校		13名
3	創価大学	52名	21	青山学院大学		12名
4	麗澤大学	43名	21	神戸国際大学		12名
5	東京国際大学	42名	23	岩手県立大学		11名
6	日本大学	41名	24	熊本学園大学		10名
7	福島大学	36名	25	札幌大学		9名
8	龍谷大学	29名	25	広島修道大学		9名
9	九州共立大学	27名	25	福山大学		9名
10	慶應義塾大学	26名	28	小樽商科大学		7名
11	大分大学	25名	29	群馬大学		6名
12	旭川大学	23名	29	立命館大学		6名
13	九州産業大学	21名	31	京都大学		5名
14	長崎大学	19名	31	兵庫県立大学		5名
14	高崎経済大学	19名	33	長岡大学		4名
16	弘前大学	16名	34	関東学園大学		3名
16	長崎県立大学	16名	34	新潟産業大学		3名
16	関東学院大学	16名		個人申込み		474名

※団体別応募者の人数は、「団体受験申込者数」＋「大学対抗戦受験申込者数」です。

《資料4》『ERE』上位成績者

順位	大学・勤務先名	所属	氏名(敬称略)	ランク
1	明治大学	政治経済学部	池田直人	S
2	創価大学	経済学部	玉江大将	S
3	創価大学	経済学部	坂部翔悟	A+
4				A+
5			清水邦敏	A

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名（敬称略）	ランク
6				A
6	大阪府立大学	経済学部	北 村 友 宏	A
8	明治大学	政治経済学部	大 沼 英 明	A
9	早稲田大学大学院	経済学研究科	藤 田 隼 平	A
10	創価大学	経済学部	加 賀 良 明	A
11			神 田 毅	A
12				B+
12			本 間 靖 健	B+
12			阿 部 靖 幸	B+
15				B+
15	前川公認会計士事務所	富山大学	前 川 克 博	B+
17			佐々木雄一郎	B+
17	新潟県立精神医療センター	経営課	長 井 謙 介	B+

《資料5》『EREミクロ・マクロ』上位成績者

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名（敬称略）	ランク
1	慶應義塾大学	経済学部吉野直行研究会	明 城 壮 志	S
2			z h a d z i h a	S
2	福岡カレッジ・オブ・ビジネス	大学編入科	福 田 謙 太 郎	S
4			北 嶋 晋 大	S
4			和 氣 出	S
6			朱 翼 楽	S
6			鈴 木 駿 一	S
8	慶應義塾大学	理工学部	吉 野 俊 太 郎	S
8			王 穎 芬	S
8	慶應義塾大学	経済学部吉野ゼミ	五十嵐 貴 大	S
8				S
8			張 歆	S
8				S
14			張 馨	S
14	創価大学	経済学部	戸 川 純 恵	S
14			周 遊	S
14			郭 じゅん	S
14				S
14			方 媛	S
20			伴 恭 介	S
20	福岡カレッジ・オブ・ビジネス	大学編入科	西 田 勇 樹	S
22	福島大学	経済経営学類	新 田 未 来	S

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名（敬称略）	ランク
22			張 シンテン	S
22	関西大学	経済学部	秋 山 京 祐	S
22			劉 莉 穎	S
22	長崎大学	経済学部	森 田 陽 大	S
27	明治大学	政治経済学部	平 栗 克 洋	S
27	立教大学	経済学部	仲 村 幸 浩	S
27	中央工学校	国際コミュニケーション科	鄒 唯 君	S
27			宋 佳 音	S
27			董 張 文	S
27	慶應義塾大学	経済学部吉野ゼミ	矢 口 敦 史	S
27	創価大学	経済学部	佐 藤 昭 弘	S
27	京都大学	経済学部	伊 藤 孝 真	S
27			金 山 修 司	S
27	兵庫県立大学	経済学部	藤 原 翔 太	S
27	福山大学	経済学部	李 燕 南	S

《第17回 ERE ミクロ・マクロ「大学対抗戦」》

「創価大学経済学理論同好会」が10連覇！

準優勝は福島大学「経済分析同好会」／群馬大学、兵庫県立大学のチームが初参加

第17回 ERE ミクロ・マクロ「大学対抗戦」は、12校22チーム、計156名で競われました。今回は、群馬大学、兵庫県立大学から新たにエントリーしていただきました。

優勝は、今回も「創価大学経済学理論同好会」チームでした。1750点を獲得しての見事10連覇です。

準優勝チームは、1510点を獲得した福島大学の「経済分析同好会」チームです。

第3位には、1450点を獲得した「慶應大学吉野ゼミA」チームが入りました。

「大学対抗戦」個人成績のトップは、450点を得点した「創価大学経済学理論同好会」チームの加賀良明さんと玉江大将さんです。

なお、個人賞は390点以上10名の方が獲得しています。

優勝・準優勝チーム、個人賞受賞者の皆さまには、日本経済学教育協会ならびに協賛団体より副賞が授与されます。

参加チームの上位4名までの平均点は295.6点で、前回は12.5点上回りました。

順 位	チーム名	学校名	総合得点	平均点
優 勝	創価大学経済学理論同好会	創価大学	1750点	437.5点
準優勝	経済分析同好会	福島大学	1510点	377.5点
第3位	慶應大学吉野ゼミA	慶應義塾大学	1450点	362.5点

*参加メンバーの上位4名の総合成績です。上位4名までの総合点が同点の場合は、チーム全員の平均点で判定します。

■大学対抗戦 優勝・準優勝チーム、個人賞トップのコメント■

☆優勝（10連覇）創価大学経済学理論同好会

E R Eの結果による単位交換制度で受験者数も増加

この度は10連覇を達成することができ、日頃私達を励ましてくださり、私達の活躍を喜んでくださる創立者をはじめ、支えてくださったたくさんの方がたへの感謝の思いでいっぱいです。また、純粋に学問探求をし抜き、時には切磋琢磨し合いながら、同好会をこれほどまでの組織へと昇華させてくれた同好会員のメンバーに同好会の代表として心から感謝しております。

この度の連覇は、E R Eに向けての勉強をしていくなかで新たな発見をし、部員全員がそれらの発見を楽しむことで更なるモチベーションを生んでいったことが大きな原動力となっていたと思います。その点で、「経済学を勉強することの楽しさを分かち合う」という我々の一つの目標が達成されたのではないかと考えています。

私たちの大学ではE R Eの結果を下にした単位交換制度があり、それが一因となって毎年の受験者数が増えていると思います。しかし、E R Eの受験は単位取得のみの結果に留まらず、E R Eのミクロ・マクロを勉強し、経済学の基礎をつけていくことでその後履修する応用科目の理解度も増す、という効果もあるのではないかと自身の経験からも考えております。

今後も応援して下さる方がたへの感謝の思いを忘れず、個々人の目標を見据えE R Eを一種の通過点としながらしっかりと基礎を積み、部員一同楽しく学んでいきたいと思っております。

（創価大学経済学理論同好会 加賀良明さん）

☆準優勝 福島大学 経済分析同好会

就活などの合間に定期的に勉強会

今回、準優勝という結果を残すことができたことをとても嬉しく思います。また、ゼミや学年を超えてともに学習に励み、同じ目標に向かって努力してきたことが、良い結果として実ったことに満足感を感じています。ともに切磋琢磨し合い、アドバイスや質問を交換し合うことでそれぞれの理解を深めていくことができました。就職活動などの合間に時間を取りながら定期的に勉強会を開催し、継続的に勉強に取り組んできました。

今回の結果は、勉強に協力して下さった先生がたやこれまで福島大学で優秀な成績を修められ、E R Eの勉強を通して交流を深めながら学習できる土壌を築かれてきた多くの先輩がたのお陰でもあります。先輩がたの結果に負けないように頑張ろうという目標もありました。今回の結果に満足することなく、次回は先輩がたの結果を超えられるように、優勝を目指してさらに学習に励んでいこうと思います。

（経済分析同好会 大峰彬広さん）

☆個人賞トップ

E R Eは考えさせられる問題が多い良い試験

まず、日頃よりお世話になっている創立者、家族、教授陣、そしてともに大学で学んでいる学友をはじめとする自身を支えてくださるすべての方がたのご恩にこの場をお借りして心から感謝申し上げます。

E R Eを受験するに際し常に心がけていたのは、択一問題を解くための勉強ではなく「この理論が成り立つうえでどのような論理が展開されているのか、また対照的な理論との抜本的な相違はなにか」という学問探究でした。E R Eはそのような態度で臨めば考えさせられる問題が多い良い試験であると感じました。

西村和雄教授や武隈慎一教授の書かれたミクロ経済学、斎藤誠教授のマクロ経済学のような学部としてはやや歯ごたえのある本を読み、わからないところも時間をかけてでもまず自分で理解しようとする不断の努力を実行すれば結果は後からついてくるかと思っております。

私自身この結果に決して満足すること無く、日々の積み重ねが勝負の境目という心意気で学んでいきたいと思っております。

（創価大学経済学理論同好会 玉江 大将さん）

第18回 E R E ミクロ・マクロ 「大学対抗戦」 参加チーム募集！

●2012年12月2日（日）実施

●受付期間 9月19日（水）～10月19日（金）〈消印有効〉

※エントリー料：無料

☆ 団体賞

▶「ダイヤモンド賞」

優勝チームには、表彰状と受験者全員に3,000円の図書カード、協賛のダイヤモンド社より受験者全員に「週刊ダイヤモンド」を3ヵ月間無料贈呈。

▶「経済セミナー賞」

準優勝チームには表彰状、協賛の日本評論社から受験者全員に月刊「経済セミナー」を6ヵ月間無料贈呈。

☆ 個人賞の副賞

▶「ファイナンシャル・プランナーズ賞」（上位10位まで）

日本ファイナンシャル・プランナーズ協会より、月刊誌『FPジャーナル』が6ヵ月間無料贈呈されます。

▶「金融知力賞」（上位5位まで）

金融知力普及協会より、金融知力プログラムの通信講座『ベーシックコース』の無料受講票が贈呈されます。

▶「日経賞」（個人賞Sランク者）

日本経済新聞社主催の「日経TEST受験券」と「やさしい日経経済用語辞典」（他の図書に変更となる場合があります）一冊が贈呈されます。

■今までの参加校：43校■（50音順）

青山学院大学／宇都宮大学／大阪大学／大阪経済大学／大阪商業大学／
大阪府立大学／小樽商科大学／鹿児島大学／九州大学／京都大学／熊本壺溪塾学園／
群馬大学／慶應義塾大学／埼玉大学／札幌大学／上智大学／創価大学／
高崎経済大学／中央大学／筑波大学／東京大学／同志社大学／東北大学／東洋大学／
長崎県立大学／名古屋大学／名古屋市立大学／名古屋学院大学／名古屋経済大学／
新潟大学／日本大学／一橋大学／兵庫県立大学／福岡カレッジ・オブ・ビジネス／
福島大学／北海道大学／武蔵大学／明治大学／山形大学／立命館大学／琉球大学／
和光大学／早稲田大学

▶委託会場制度利用のご案内

現在、全国に16の本会場を設け、「E R E（経済学検定試験）」を実施しておりますが、該当県外に住む受験希望者からみて会場が遠方にあることにより、「希望者がいても、なかなか受験に直結することができない」との声があります。最近では「交通費をかけて県外の受験会場へ足を運ばせるのも学生の大きな負担となるため、委託会場としての実施を検討したい」というお話を頂戴する機会が増えてまいりました。

受験申込者を取りまとめ一括でお申込をいただく場合は「団体受験申込制度」があり、以下の条件を満たせば、委託会場として受験者が所属する学校や会社内に受験会場を設けることができます。すでに20団体を超える大学に登録・実施をいただいております。少しずつ全国に広がりを見せている制度です。どうぞご利用ください。

●委託会場とは

委託会場とは、試験会場の設置および実施・運営のための規程等を遵守することを条件に、団体が申請した施設等を協会が試験会場として認めたものをいいます。

●委託会場設置条件とは

委託会場設置のためには、下記の条件を満たす必要があります。

- ① 協会が定めた試験実施日時を厳正に遵守すること。
- ② 受験申込者数が2種目（E R E／E R Eミクロ・マクロ）の合計で10名以上であること。
- ③ 試験当日の会場責任者として、試験申込責任者もしくはそれに準ずる者を選任すること。
- ④ その他、協会で定める規程等を厳正に遵守すること。

●試験実施までの流れ

〈試験前に行っていただくこと〉

- ① 到着資材の確認
- ② 試験問題等重要資材の保管

〈試験当日〉

運営方法を記した『試験実施規定』にもとづき、厳正に試験を監督・実施。

〈試験終了後〉

遅滞のないよう答案等試験資材を検定試験運営センター宛に返送。

本会場受験者と同一の手続きにより採点し、成績結果を通知します。

●実施手数料のお支払い

委託会場としての登録・設置を事前にいただき、当日の試験運営を行っていただく場合は、団体取りまとめ手数料10%に加え、委託実施手数料として受験料の15%（合計で25%）をお支払いします。お支払方法は、受験料より差引入金していただくことで行います（申込者が10名に満たない場合は、手数料のお支払いはありませんが、委託会場として実施をいただくことはできません）。

委託会場制度をご利用いただく場合は、事前にご連絡ください。団体申込用FD願書のご請求時に所定の用紙「委託会場設置届出書」をお送りします。詳細につきましては、検定試験運営センターまでお問合せください。

■検定試験運営センター■

〒162-8464 東京都新宿区市谷本村町3-21

Tel：03-3267-4821 Fax：03-3267-4999 e-mail：info@ere.or.jp

— 経済学の学習到達度を測定 —

2012年度 第23回 E R E 実施要領

『E R E』（6科目）

実施回	第 23 回
試験日	2012年12月2日（日）
試験時間	午後1時00分～午後4時00分（180分）
受付期間	2012年9月19日（水）～2012年10月19日（金）〈消印有効〉
受験料	5,250円（税込）
出題科目	ミクロ経済学／マクロ経済学／財政学／金融論／国際経済／統計学
出題形式	4択一式／90問，1問10点，900点満点
持込品	受験票、筆記用具（HB程度の鉛筆またはシャープペンシル〈ボールペンは不可〉、消しゴム）、電卓（ただし、金融計算電卓、関数・メモ機能付きは不可）、顔写真付身分証明書（学生証・運転免許証・パスポート等）

『E R E ミクロ・マクロ』（2科目）

実施回	第 23 回
試験日	2012年12月2日（日）
試験時間	午後1時00分～午後2時40分（100分）
受付期間	2012年9月19日（水）～2012年10月19日（金）〈消印有効〉
出題科目	ミクロ経済学／マクロ経済学（注）
受験料	3,150円（税込）
出題形式	4択一式／50問，1問10点／500点満点
持込品	受験票、筆記用具（HB程度の鉛筆またはシャープペンシル〈ボールペンは不可〉、消しゴム）、電卓（ただし、金融計算電卓、関数・メモ機能付きは不可）、顔写真付身分証明書（学生証・運転免許証・パスポート等）

（注）『E R E』のミクロ経済学・マクロ経済学と同一問題です。

2012年12月受験用 E R E 経済学検定試験 問題集

- 第19回～第22回の試験問題360問と解答・ポイント解説を掲載
- 出題傾向の把握が可能

日本経済学教育協会 認定 経済法令研究会 編
A 5判 304頁 予価1,995円（税込）